

## ■ 新駅附帯施設について

### 1 附帯施設<sup>※</sup>設置スペースについて

新駅に必要な機能を有する**附帯施設**を設置するため、駅舎の整備主体である鉄道・運輸機構との協議により、**新幹線高架下に附帯施設を設置する空間を 500 m<sup>2</sup>程度確保**しております。(参考資料 2)

※附帯施設；駅施設以外の施設（例：観光案内所、コインロッカー、物販施設など）

### 2 駅附帯施設の基本設計業務について

駅舎設計は令和 4 年 10 月から進められており、小樽市では令和 5 年度の作業として鉄道・運輸機構の駅舎設計を受託している(株)JR 東日本建築設計 (JRE 設計) へ駅附帯施設の基本設計を委託し、駅舎設計と整合を図りながら駅附帯施設の**建築構造の検討**、**駅附帯施設の配置**を行い、平面図等の各種図面の作成、電気設備・機械設備等の施設計画を進めてまいりました。

### 3 駅附帯施設のレイアウト案について

令和 4 年 10 月 7 日開催の第 9 回北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会にて提示した原案 (参考資料 3) を踏まえ、駅舎との動線や鉄道施設と調整しながら附帯施設のレイアウト案 (資料 2-2) を作成しました。

- |                       |   |   |
|-----------------------|---|---|
| ・ 資料 2-2 附帯施設のレイアウト案  | } | 令和 4 年 10 月 7 日開催の第 9 回北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会にて提示した資料 |
| ・ 参考資料 2 附帯施設の設置位置    |   |   |
| ・ 参考資料 3 附帯施設のレイアウト原案 |   |   |